

令和 7 年度 順天堂大学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）点検・評価結果

医療看護学部

点検・評価項目	点検結果（コメント等）	評価
A：履修状況 - 履修者数・履修率、目標の達成状況 - 学生の履修を高めるための取組 - 学生の学修成果の把握	「情報科学」「統計学」とも必修科目である。履修率はともに 98.2%で、100%に至っていない理由は、在籍したが、休学もしくは退学した学生が含まれていたためであるので、実質的には 100%の履修率である。 「統計演習」については、5 名（2.3%）と昨年度より履修者が減少してしまった。今後、学生に受講する意義について周知の工夫が必要である。	B
B：プログラムに対する学生の評価 - 学生の理解度、満足度は十分か - 後輩他への推奨度	- 学生の理解度について、授業評価アンケートの質問項目「授業内容をよく理解でき、新しい知識や技能を身に付けることができたか」の評価において肯定的回答（＜強くそう思う＞と＜そう思う＞）の割合は、「情報科学」94.6%、「統計学」68.3%、「統計演習」60.0%であった。さらに、質問項目「授業から刺激を受けて、その分野や関連分野のことをさらに知りたいと思ったか」の評価において肯定的回答は、「情報科学」75.5%、「統計学」54.0%、「統計演習」80.0%であった。 - 学生の満足度における肯定的回答の割合は、「情報科学」85.1%であり、「統計学」61.1%、「統計演習」100.0%であった。「統計学」についてはやや低下しているが、「統計演習」については上昇している。	A
C：プログラムの構成・内容、指導の工夫 - 学ぶ楽しさ、学ぶ意義を教える授業となっているか - 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業となっているか - 学生の理解やスキルの獲得を助けるための工夫	授業評価アンケートの質問項目「教員の説明やわかりやすく、理解を深めるのに役立ったか」の評価における肯定的回答は、「情報科学」91.5%、「統計学」73.4%、「統計演習」100%であった。さらに質問項目「教員は、グループワーク、グループディスカッション、小テスト、小レポート等、学生の理解を深めるための工夫をしていたか」の評価において肯定的回答は、「情報科学」83.0%、「統計学」69.8%、「統計演習」100.0%であった。	A
D：質問・相談等への対応 - 学生からの質問・相談に対応する体制は確保されているか - 授業課題や学生の参加に対し、効果的なフィードバックを行ったか。	授業評価アンケートの質問項目「教員は、学生が質問や意見を述べられるように配慮していたか」の評価において肯定的回答は、「情報科学」84.0%、「統計学」74.6%、「統計演習」100%であった。	A
E：修了生の進路・評価 教育プログラム修了者の進路・活躍状況	本学部としては応用基礎レベルについては、修了生が卒業していない。今後、各種アンケートを通じてプログラム修了生の進路、活動状況等の状況を把握し、評価することとする。	F
F：学外からの評価 - プログラム修了者に対する企業等の評価 - 教育プログラム内容・手法等に関する外部意見	現時点では、本プログラムに対する外部意見を把握できていない。今後、本学全体の「外部評価プロセス」を活用しながら、本プログラムの妥当性・有効性に関する外部意見を聴取することとする。	F

【評価の基準】 S：高水準にある/目標以上の成果があった、A：ある程度の水準にある/ある程度の成果があった、B：不十分な水準にある/改善が必要である、F：判断材料の不足により判断できない

令和 7 年度 順天堂大学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）点検・評価結果

健康データサイエンス学部

点検・評価項目	点検結果（コメント等）	評価
A：履修状況 - 履修者数・履修率、目標の達成状況 - 学生の履修を高めるための取組 - 学生の学修成果の把握	健康データサイエンス学部では 20 の科目が対象となる。本学部においてはこれらの科目は教育の根幹をなすものであり、すべてが必修である。このため履修率はほぼ 100%で、累計終了率も 84.3%と高くなっている。	S
B：プログラムに対する学生の評価 - 学生の理解度、満足度は十分か - 後輩他への推奨度	理解度の平均点はどの科目も 4 点程度である。一方、満足度については全体としては高いものの、ややばらつきがあり、一部の難易度が高い科目においてはやや低くなっている。これは科目の性質上やむを得ないと思われる。	S
C：プログラムの構成・内容、指導の工夫 - 学ぶ楽しさ、学ぶ意義を教える授業となっているか - 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業となっているか - 学生の理解やスキルの獲得を助けるための工夫	多くの授業で、実データを用いた演習を導入する、十分な演習時間を確保するなど、学生の興味を高めるための工夫が行われており、学生の評価も一般に高い。一方で、難易度の高い一部の科目においては評価が低くさらなる工夫が必要である。	A
D：質問・相談等への対応 - 学生からの質問・相談に対応する体制は確保されているか - 授業課題や学生の参加に対し、効果的なフィードバックを行ったか。	多くの授業で質問のための時間をとるなど、工夫が行われている。大半の科目で肯定的評価が 80%を超える。一方で、一部の高度な科目においては肯定的評価が 70%をきるものもあり、より高度な質問対応の体制を整備する必要がある。	A
E：修了生の進路・評価 教育プログラム修了者の進路・活躍状況	プログラム開始 2 年目であり、修了生が卒業していない。今後、各種アンケートを通じてプログラム修了生の進路、活躍状況等の情報を把握し、評価することとする。	F
F：学外からの評価 - プログラム修了者に対する企業等の評価 - 教育プログラム内容・手法等に関する外部意見	- 現時点では、本プログラムに対する外部意見を把握できていない。今後、本学全体の「外部評価プロセス」を活用しながら、本プログラムの妥当性・有効性に関する外部意見を聴取することとする。 - 数理・データ科学教育研究センターで企業と連携したコンペティションやセミナー等を企画する予定であり、そうした機会を通じて企業から本プログラムの評価を聴取することとする。	F

【評価の基準】 S：高水準にある/目標以上の成果があった、A：ある程度の水準にある/ある程度の成果があった、B：不十分な水準にある/改善が必要である、F：判断材料の不足により判断できない

令和 7 年度 順天堂大学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）点検・評価結果 医学部

点検・評価項目	点検結果（コメント等）	評価
A：履修状況 ・履修者数・履修率、目標の達成状況 ・学生の履修を高めるための取組 ・学生の学修成果の把握	● 当学部では「データサイエンス基礎」「統計解析への数学」「疫学・統計学・数理科学」の 3 科目が対象となる。当学部においてはこれらの科目は教育の根幹をなすものであり、全て必修としている。このため履修率は 100%となっている。	S
B：プログラムに対する学生の評価 ・学生の理解度、満足度は十分か ・後輩他への推奨度	● 全般的な理解度、満足度は高い。一方で、一部の高度な科目では、理解度や満足度とも低下する傾向がある。より、具体的なデータ演習があり、厳しく自己評価するに至ったことが一因と考えられる。難易度の向上にしたがって理解度が低下することは避けられないが更なる工夫が必要と考えられる。	S
C：プログラムの構成・内容、指導の工夫 ・学ぶ楽しさ、学ぶ意義を教える授業となっているか ・内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業となっているか ・学生の理解やスキルの獲得を助けるための工夫	● 多くの授業で実データを用いた研修を導入する、十分な演習時間にくわえて、オフィスアワーでの対応、e-mail、LSM を通じて対応を行うなど、学生の興味を高めるための工夫が行われており、学生の評価も一般に高い。一方で、難易度の高い一部の科目においては評価が低く、さらなる工夫が必要である。	A
D：質問・相談等への対応 ・学生からの質問・相談に対応する体制は確保されているか ・授業課題や学生の参加に対し、効果的なフィードバックを行ったか。	● 多くの授業で質問のための時間をとるなど、工夫が行われている。全般的には、肯定的評価がされていると考えられる。一方で、難易度の上昇した科目においては肯定的評価が低下しており、70%前後であるため、より高度な質問対応の体制を整備する必要がある。	A
E：修了生の進路・評価 ・教育プログラム修了者の進路・活躍状況	● プログラム開始 1 年目である、修了生が卒業していない。今後、各種アンケートを通じてプログラム修了生の進路、活躍状況等の情報を把握し、評価することとする。	F
F：学外からの評価 ・プログラム修了者に対する企業等の評価 ・教育プログラム内容・手法等に関する外部意見	● 現時点では、本プログラムに対する外部からの意見を把握できていない。今後、本学全体の「外部評価プロセス」を活用しながら本プログラムの妥当性・有効性に関する外部意見を聴取することとする。	F

【評価の基準】 S：高水準にある/目標以上の成果があった、A：ある程度の水準にある/ある程度の成果があった、B：不十分な水準にある/改善が必要である、F：判断材料の不足により判断できない